

様式 14 外部立会人経費内訳書

外部立会人経費内訳書

施設名:

所在地:

不在者投票管理者:

不在者投票 実施月日	立会時間 (A)	外部立会人氏名	投票者数(人)						計	
			衆議院議員総選挙		最高裁判所裁判官 国民審査 (D)	その他の選挙				
			小選挙区 (B)	比例代表 (C)		選挙 (E)	選挙 (F)			
月日	: ~ :		人	人	人	人	人	人	人 (G)	
	(時間 分)	経費積算(※)			円	円	円	円	円 (H)	
月日	: ~ :		人	人	人	人	人	人	人 (G)	
	(時間 分)	経費積算(※)			円	円	円	円	円 (H)	
月日	: ~ :		人	人	人	人	人	人	人 (G)	
	(時間 分)	経費積算(※)			円	円	円	円	円 (H)	

- (※) ・「経費積算」欄には、次の算定式で算出される額を記入してください。この額が各選挙管理委員会から貴施設に支払われます。
- ・「市区町村の委員会の任命した者が外部立会人だった場合」は、「経費積算」欄を空欄にして提出してください。報酬は市町村選挙管理委員会が支給しますので、貴施設から報酬を支給する必要はありません。
 - ・「市区町村の職員が外部立会人だった場合」は、この用紙の提出は不要となります。貴施設から経費を支給する必要はありません。

各選挙の経費積算額の算定式

○ A ≤ 7 時間の場合

$$G = 12,400 \times A / 8.5 \quad (1 \text{ 円未満は四捨五入}) \quad (\text{立会時間に } 1 \text{ 時間未満の端数があるときは、 } 1 \text{ 時間に切り上げること。})$$

$$\text{経費積算額} = G \times (\text{各選挙の投票者数 } [B, C, D, E]) / F \quad (1 \text{ 円未満は四捨五入}^*)$$

○ A > 7 時間の場合

$$G = 12,400$$

$$\text{経費積算額} = G \times (\text{各選挙の投票者数 } [B, C, D, E]) / F \quad (1 \text{ 円未満は四捨五入}^*)$$

※ただし、実際に外部立会人に支払った額が上記Gの額を下回る場合は、Gは実際の支払額（領収書の金額）としてください。

* 四捨五入した結果、各選挙の経費積算額の合計とGの額が一致しない場合がありますが、差し支えありません。